

8月18日(月)

自分の罪を認められるように年齢を重ねる

聖書朗読 ヨハネ 8：2～11

身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。

I ペテロ 5：8

律法学者とパリサイ人がモーセの律法について、イエス様のお考えを試すために、姦淫の場で捕えられた一人の女を連れて来ました。イエス様は静かに彼らに彼ら自身の罪を思い出させました。正義をふりかざすことはされず、その結果、『年長者から始めて、ひとりひとり出て行き』ました(マタイ8：7、9)。自分の真の姿を見ると、自信がなくなることがあります。自分よりもダメな人と自分を比べることで築いてきた自信が、なくなってしまいます。

使徒パウロは『ですから、すべて他人をさばく人よ。あなたに弁解の余地はありません。あなたは、他人をさばくことによって、自分自身を罪に定めています。さばくあなたが、それと同じことを行なっているからです。』(ローマ2：1)と教えています。

時間という神様からの贈り物は、私たちに人生経験を与えてくれます。人生の経験を積むことで、私たちは自分自身を知り、赦しが必要であることを知るのでした。

みこころのままに。主よ、みこころのままに。

主よ、今日、私を調べて、試してください。

主よ、たった今、私を雪よりも白く、清めてください。

あなたの御前で、私はへりくだり、頭をたれます。

—————ラルフ・E・ハドソン

讃美歌 521

祈り 御恵み深いお父様。キリストが私たちをご覧になるように、自分自身を見ることが出来る明瞭な目を持つことができますようにお祈りします。そして、自分を変えるために、あなたの至上の御力にすすんで従うことができますように。主の御名において。アーメン。

ノーマ・プライバット

カリフォルニア州 サウザンドオークス

今日の方

2014年8月18日～8月24日

翻訳 村越克子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月19日(火)

愛と期待

聖書朗読 ヨハネ 11:1~6

「わたしはほんのしばらくの間、あなたを見捨てたが、大きなあわれみをもって、あなたを集める」
イザヤ 54:7

「行ないは言葉よりも雄弁である」とよく言います。人は、ときどきコミュニケーションが困難になることがあります。メッセージ自体がはっきりしないことがありますし、受け取った人が相手が何を言いたいのかよくわからないことがあります。それで混乱が生じることになります。

神様がなさることやおっしゃることが、私たちにはよく理解できなくて、困惑することがあります。イエス様は、マリヤとマルタの使いからラザロの病が重篤であると知らされました。マリヤとマルタの姉妹がイエス様に助けを求めざるを得なかっただけではなく、実際、ラザロはその病で亡くなりました。イエス様はラザロが重い病にあるという知らせを受けたのち、あえてラザロのもとに行くのを遅らせました。私たちは、イエス様がただちにすべてを投げ打って、ラザロの病床に向かうことを期待します。イエス様はラザロを愛しておられたのですから。ですから、イエス様がラザロのもとに向かうことを遅らせたことは、私たちを困惑させます。しかし、愛は期待へとつながります。

イエス様がラザロを本当に愛していたことを、私たちに確信させるために、ヨハネはあえてこのことを記したのです。のちに私たちは、イエス様がなさったことは、イエス様がおっしゃったことよりも雄弁であることを理解します。

私たちはみんな、神様に期待していませんか? 「もし神様が私のことを本当に愛してくださるなら、神様はきっとこうしてくださる」と思うものです。私たちは、神様にどんなことを期待しているか書き出します。でも、あなたが主に何を期待するにしても、このことを覚えましょう。主がなさることは、あなたが期待することよりもはるかに雄弁であるということ。

讚美歌 285

祈り 義なるお父様。あなたに見捨てられ、愛されていないように感じるときでも、あなたをお頼りすることができますように助けてください。分別をわきまえた期待をもつことができますように。あなたはご自身が約束されたことを必ず守るお方であることを私たちが覚えることができますように助けてください。

イエス様の貴い御名において。アーメン。

ロン・グスマン
テキサス州 ラボック

8月20日(水)

よみがえりといのち

聖書朗読 ヨハネ 11:17~27

盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。 ヨハネ 10:10

マルタとマリヤの姉妹は、イエス様にはラザロを救うことが可能であり、ラザロは死なずにすんだことがわかっていました。2人はイエス様の癒しの御力を信じていました。マルタは『今でも私は知っています。あなたが神にお求めになることは何でも、神はあなたにお与えになります』と言いました。マルタはまた、終わりの日のよみがえりを信じ、イエス様がよみがえりであり、いのちであることを信じていました。マルタはイエス様が神の子キリストであると告白しました。マルタもマリヤも信仰に欠けたところはなく、2人はただラザロを愛していました。そしてイエス様もラザロを愛しておられました。

イエス様は、たとえご自身がよみがえりといのちのお方であることをマルタに確信させ、マルタを安心させても、また、その後、間もなく『ラザロよ。出てきなさい』と大声で叫ばれるとしても、イエス様は悲しみの時間を持たれました。

イエス様はいのちについての真実をご存知でしたが、死の悲しみを分かち合われました。主は、私たちが死なないようにはなさいませんが、死のときにあっても、私たちとともに歩いてくださり、私たちのために、そして私たちと一緒に涙を流してください。それから、主は死から私たちを主のもとへと呼んでくださいます。

私たちは、主が私たちが苦しむのを防いでくださったり、苦痛から守ってくださるといいのと思うものです。しかし、私たちの悲しみの原因がなんであれ、主が私たちと一緒に悲しんでくださり、私たちによみがえりといのちを叫んでくださることを信じましょう。

讚美歌 128

祈り 親愛なる主よ。私たちは悲しみの中であなたに呼びかけます。そして、どんな悲しみでも、あなたがそれをよくご存じていらっしゃることを信じます。今日のいのちのために、そして明日の希望のために、あなたのもとへお呼びください。私たちを取り囲む死から私たちを呼び出して、墓から出てくる方法をお示してください。

イエス様の御名において。アーメン。

ケネス・ホウレイ
テキサス州 ラボック

8月21日(木)

素晴らしい光

聖書朗読 ルカ 11:33~36

主があなたの永遠の光となり、

イザヤ 60:19

私は60歳になりますが、夫が不在の夜は、恥ずかしながらいまだにナイトライトをつけて寝ています。心配事が思い浮かんだときなどには、そのほのかな明かりは、夜が明ける前の時間帯には心強いものです。

聖書は、光という救いの御力について、創世記における光の誕生から、黙示録における『もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、彼らにはともしびの光も太陽の光もいらない』(ヨハネの黙示録22:5)という最後の約束まで豊かな記述にあふれています。

光についての多くの記述があるので、私たちは希望と励ましに関して途方に暮れることはありません。サムエルのように、私たちは『主よ。あなたは私のともしび。主は、私のやみを照らされます。』(IIサムエル記22:29)と宣言することができます。詩編の中でダビデは『主の仰せはきよくて、人の目を明るくする』(詩編19:8)と認めています。

私たちのお父様が御子イエス様を通して私たちに手を差し伸べてくださったとき、『この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。』(ヨハネ1:4)ことを喜びます。『しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。』(Iヨハネ1:7)ということが続けられますように。

光でありいのちである主を讃美しましょう。

讃美歌 第二編 44

祈り 親愛なる主よ。私たちを闇からあなたの素晴らしい光へと呼んでくださいまして、ありがとうございます。私たちが、まわりの人たちにあなたの輝きを愛を持って映し出すことができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

アン・スピンラー

メリーランド州 フレデリック

8月22日(金)

贅沢な愛

聖書朗読 ヨハネ 12:1~11

マリヤは、非常に高価な、純粋なナルドの香油三百グラムを取って、イエスの足に塗り、彼女の髪の毛でイエスの足をぬぐった。
ヨハネ 12:3

マリヤの感情はジェットコースターのように上下しました。マリヤの兄弟のラザロは突然、病気になる死んでしまいました。マリヤとマルタは深く悲しみましたが、その4日後、まったく予期していなかった、非常に稀有なことを体験しました。兄弟のラザロが、イエス様によって、死からよみがえったのです。

のちにイエス様が再びラザロのもとに来られたとき、イエス様をたたえるために、そしてラザロのよみがえりという奇跡の出来事を祝うために、マリヤはイエス様の栄誉をたたえる晩餐を用意しました。晩餐は、それ自体がマリヤがイエス様を愛していることを示しましたが、彼女にとっては、晩餐だけでは十分ではありませんでした。マリヤはもっと多くのことをしなければならぬと思いました。

純粋なナルドの香油三百グラムは1年分の収入に等しく、現在に換算すると、おそらく35000ドル以上になるでしょう。これはマリヤの生活の蓄えだったので、マリヤは戸惑うことなく、イエス様の足に塗ったのでした。無駄遣いだと思いませんか？ 確かにもったいないかもしれませんが、それは主に対する愛をあらわしていました。

イスカリオテ・ユダとおそらく他の人たちも、「もったいない」と異議を唱えました。ユダの態度はマリヤとは真逆のものでした。マリヤは自分がどれほどイエス様を愛しているかを示し、ユダはイエス様を軽くみなしていることを示したのです。

愛は高価なものです。お金では測れないときもあります。しかし、歴史上、もっとも贅沢な愛は、マリヤがイエス様に示した愛ではなく、イエス様がマリヤに示した愛であり、私たちみんなに示してくださる愛なのです。なんて素晴らしい愛でしょう！

聖歌 118

祈り お父様。あなたの贅沢な愛を感謝します。イエス様が私たちを愛してくださったような愛を学ぶことができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ラリー・ブランナム

アーカンソー州 スプリングデイル

8月23日(土)

戸口の中の足

聖書朗読 ヨハネ 13:18~30

罪は戸口で待ち伏せして、あなたを恋い慕っている。だが、あなたは、それを治めるべきである。 創世記 4:7

訪問販売のセールマンの足をあなたの家の戸口の中に入れたことはありますか？ 彼が売ろうとしている商品を買う気はまったくないのに、ちょっとした隙に、彼に話す間を与えてしまい、その結果、よくわからないうちに、契約書にサインしてしまい、要らない本のセットを買ってしまいます。そして、すぐに戸口を開けたことを後悔するはずです。

イエス様と使徒たちとの最後の晩餐は、ユダがサタンに自分の心の戸口を開いた最初ではありませんでした。その数日前、ユダにサタンが入り、イエス様を裏切るために、祭司長たちや宮の守衛長たちとどのようにしてイエス様を引き渡すかを決めました(ルカ22:1~6)。いったんサタンが入ってしまうと、サタンのたくらみをやり通す次のステップに進むようにユダが説得されるのは、時間の問題でした。

ユダのときと同じように、サタンは私たちを見張りながら、私たちの心の戸口の外に座っています。そして、私たちが怒ったり、弱くなったり瞬間を待っています。心の戸口を開けさせるには、足さえ入れば、サタンにとっては十分なのです。ですから、あなたの心の扉を油断なくガードし、主以外の人には開けないようにしましょう。それが、あなたを後悔の一生から救うのです。

讃美歌 267

祈り 主よ。悪が入口に入り込まないように、あなたに心の中に入らせていただき、完全に満たしていただくことができますように。

キリストを通してお祈りします。アーメン。

ジャン・ノックス
テキサス州 グランバリー

8月24日(日)

道

聖書朗読 ヨハネ 14:1~7

あなたがたはすでに死んでおり、あなたがたのいのちは、キリストとともに、神のうちに隠されてあるからです。私たちのいのちであるキリストが現われると、そのときあなたがたも、キリストとともに、栄光のうちに現われます。 コロサイ 3:3~4

私はGPSナビが大好きです。ナビに住所を入力すれば、行き方を示してくれます。

曲がりくねった荒野の地図を見ると、イスラエルの民は約束の地にたどり着くために、GPSナビを使うことができたのだと思います。でも、その時代にはナビはありませんでした。彼らには神様がついていてくださいました。神様は昼は雲の柱の中に、夜は火の柱の中にいてくださり、前を進んでくださいました。彼らの真の旅は神様へと向かうものであり、それは決して平坦な道ではありませんでした。

イエス様は、イエス様が弟子たちの場所を備えに行かれること、イエス様がいらっしゃる道を弟子たちが知っていることを、混乱する弟子たちに確信させました。弟子たちは地理的な道のことを考えたでしょうか？ 純金で舗装された12の通り、四角い都などを(黙示録21:16)。弟子たちはその道のことは知りませんでした。仮に弟子たちが、そのことを考えたとしても、やはりイエス様が言われたことを正しく理解してはいません。イエス様がおっしゃる道とは地理的なものではありませんし、「天国の図形」でもありません。御父の家に場所を備えに行かれることをお話しになられたのです。御父のもとへの旅は通常の旅とは異なります。そこにたどり着く道は1つしかありません。その唯一の道が御子であり、それが御父と御子との関係なのです。

私たちは天国と呼ばれている場所にたどり着けることを讃美し、天国に行きたいと本当に思います。そして、イエス様は私たちが御父のもとにたどり着くことを望んでいらっしゃる。イエス様を知り、イエス様に従い、イエス様を愛することが大切なのです。番地の問題ではありません。肝心なことは神様と結びついていることなのです。

讃美歌 244

祈り ああ、お父様。あなたのもとに本当にたどり着く必要があるとき、私たちはその場所に何度も行きたいと思います。私たちがイエス様と道を知っていることを感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

ティム・ケリー
カリフォルニア州 チコ